

【学力向上フロンティアスクール用中間報告書様式】(中学校用)

都道府県名	茨城県
-------	-----

学校の概要 (平成15年4月現在)

学校名	岩瀬町立西中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	3	4	4		11	23
生徒数	113	144	140		397	

研究の概要

1. 研究主題

基礎・基本を大切にし、一人一人に応じた指導の工夫
--------------------------

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<p>1・2年生・数学科 生徒の理解の状況に差が出やすい教科であり、3年間の数学科の学習の基礎・基本となるため。</p> <p>1・2年生・英語科 生徒の理解の状況に差が出やすい教科であり、3年間の英語科の学習の基礎・基本となるため。</p> <p>平成15年度より全教科での指導体制や指導方法の研究を進める。</p>
---

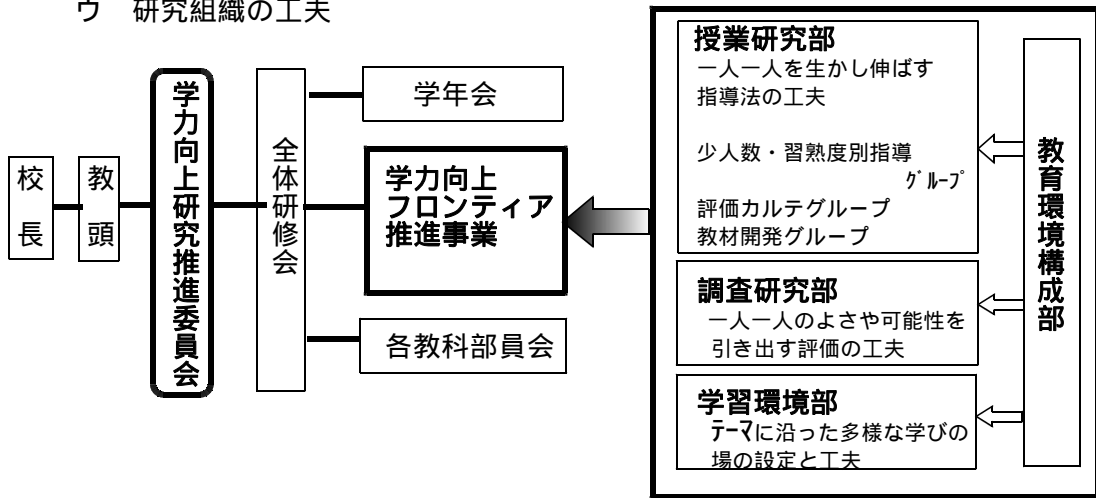
(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ</p> <p style="text-align: center;">基礎・基本を大切にし、一人一人に応じた指導の工夫</p> <p>仮説</p> <p>各教科の基礎的・基本的な内容を明確にし、補充的な学習や発展的な学習など、生徒の興味・関心・習熟度などの実態に応じた指導方法や指導体制を工夫すれば、生徒の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることができるであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>1年生数学科 1クラスを2つ・3つに分ける習熟度別指導</p> <p>1年生英語科 複数の教科担当者による少人数指導</p>
--------	--

平成 15 年 度	<p>テーマ</p> <p>基礎・基本を大切にし，一人一人に応じた指導の工夫</p> <p>仮説</p> <p>各教科の基礎的・基本的な内容を明確にし，補充的な学習や発展的な学習など，生徒の興味・関心・習熟度などの実態に応じた指導方法や指導体制を工夫すれば，生徒の基礎的・基本的な内容の確実な定着を図ることができ，生きる力が身に付くであろう。</p> <p>研究の内容・方法</p> <p>指導形態・研究体制の確立</p> <p>学習指導方法の工夫・改善・・・全教科で</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科の基礎的・基本的事項一覧の作成</li> <li>・少人数・習熟度別指導・・・数学科・英語科</li> <li>・少人数指導・習熟度別指導の工夫 <ul style="list-style-type: none"> <li>{ 数学科：ベーシックコース，パワーアップコース</li> <li>英語科：基礎的学習コース，発展的学習コース</li> </ul> </li> <li>・習熟度や個性・特性に応じた教材の工夫・開発</li> <li>・補充・発展的教材の開発事例作成</li> <li>・少人数・習熟度別指導の年間学習指導計画への位置づけ</li> <li>・少人数・習熟度別指導における学習形態の工夫</li> <li>・各教科における教材の開発</li> <li>・各教科の基礎的・基本的事項一覧の作成</li> </ul> <p>評価カルテの活用・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年間学習指導計画に，観点別評価規準 A，B を示し，C の状況生徒への指導の手だての位置づけ。</li> <li>・自己評価表により，本時の学習を振り返り到達度の確認。</li> </ul> <p>学習環境構成の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間割に数学科・英語科の少人数・習熟度別指導の位置づけ</li> <li>・空き教室に study room の設置，「数学学習室」「英語学習室」の環境構成・充実</li> <li>・日課表に朝の自習（基礎・基本の時間）や教科部員会・校内研修会を位置づけ，取り組みを工夫</li> <li>・G・T の募集と一覧作成</li> <li>・フロンティアコーナーの設置・・・資料の活用と保管</li> </ul>
	平成 16 年 度

(3) 研究推進体制

ウ 研究組織の工夫



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

(1) 平成14年度1年生と平成15年度2年生(2学期)観点別評価の比較 (単位%)

数学科	観点	評価			C		
		H14	H15	増減	H14	H15	増減
	関心・意欲・態度	41	50	+ 9	15	11	- 4
	考え方	22	22	0	27	24	- 3
	表現・処理	35	46	+ 11	16	14	- 2
	知識・理解	42	51	+ 9	11	8	- 3

少人数授業や習熟度別授業での学習により、関心・意欲の高まりが見られた。表現・処理や知識・理解などの基礎・基本の定着を図ったりすることができた。

習熟度別授業において、個別に指導しているため、パワーアップコース(「発展的学習」)への取組が意欲的になり、「プリントBOX」の活用が目立ち自主的学習ができるようになった。じっくりと考えて課題に取り組む力や作業能力が高まっており、成果が表れている。

学習内容に難を示す「Cの状況における生徒」に対してきめ細かい指導が可能になったので、全体的なレベルの底上げに繋がった。(単位%)

英語科	観点	評価			C		
		H14	H15	増減	H14	H15	増減
	関心・意欲・態度	48	54	+ 6	8	6	- 2
	表現の能力	8	18	+ 10	30	14	- 16
	理解の能力	17	33	+ 16	16	12	- 4
	知識・理解	42	48	+ 6	27	11	- 16

表現の能力のうち、speakingの習熟度別指導において、基礎コースでは、学習に困難を感じている生徒にも、一人一人に十分に指導ができ英語に対する自信をつけさせることができた。また、発展コースでは、学習意欲の高い生徒に、数多くの英語表現を考えさせることができるようにしたため、英語を使う楽しさを感じさせることができた。

反復練習を繰り返しながら、落ち着いて課題に取り組む力が高まり、単語を書く力、短い文章を読む力は向上している。

(2) フロンティア調査結果から

	H14	H15
少人数授業は普段よりわかりやすい	71%	73%
少人数授業がわかりやすかった理由		
先生が細かく丁寧に教えてくれた	56%	29%
集中できた	22%	31%
先生の話がよくわかった	14%	18%
自分の意見を発表しやすかった	8%	22%

少人数授業は生徒にとって理解しやすいことがわかる。その理由として集中できること、自分の意見を発表しやすいこと、教師とのコミュニケーションがとりやすいことをあげている。

また、先生に教えてもらおうとする受動的な学習から、「自分の意見を発表する」という自主的に学習しようとする変容の一部が伺える。

これらを支援・指導していき、「学習する楽しさ」「成就感」等を味わわせたい。

2. 今後の課題

- 学習指導方法の工夫・改善・・・全教科で
  - 各教科で研究した多様な指導法を整理統合し、効果的な指導法の確立
- 少人数・習熟度別指導・・・数学科・英語科
  - 一人一人の生徒の個性や特性に応じた指導を行うための評価カルテの研究
  - 習熟度や個性・特性などに応じた教材の工夫・開発
  - 教材開発を整理統合し、学びへの意欲の向上
  - コンピュータの効果的な活用法
  - 少人数・習熟度別指導による学習の定着度合いの明確化
- 生徒一人一人の特性・個性・可能性に対応するための選択教科の充実
  - G・Tの活用

学力把握のための学校としての取組

	調査の目的	実施内容	時期
茨城県学力診断のためのテスト	テストの分析	国・社・数・理・英	4月
フロンティアアンケート	生徒の実態調査 保護者への啓蒙 教師の意識改革	生徒の学習意識 保護者の意識 教師の意識	7月
単元復習テスト	定着度確認	数学・英語・理科	小単元毎
単元確認テスト	定着度確認	社会	小単元毎
漢字力テスト	定着度確認	国語	毎時間

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

公開授業及び研究協議会 平成15年10月20日(月)  
 参加対象者 { 岩瀬町内各学校 近隣市町村各学校  
 中央ブロック各学校 保護者  
 その他

公開教科及び内容  
 数学科 「文字と式」 平成15年 9月11日(水)  
 校内自主研修会・・・数学科・英語科  
 教材集の作成  
 フロンティアティーチャーとしての情報交換  
 本校ホームページでの成果の紹介  
 e-mail nisijh@mocha.ocn.ne.jp  
 『学力向上フロンティアスクール研究資料』や『校内研修会資料』(毎月発行)について他校からの問い合わせあり。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。(複数チェック可)

- 【新規校・継続校】            15年度からの新規校     14年度からの継続校
- 【学校規模】                    3学級以下                    4～6学級  
                                     7～9学級                     10～12学級  
                                     13～15学級                    16学級以上
- 【指導体制】                     少人数指導                     T・Tによる指導  
                                     その他
- 【研究教科】                     国語                    社会                     数学                    理科  
                                      外国語                    音楽                    美術                    技術・家庭  
                                     保健体育                    その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】     有                    無